

安全・安心な農産物を

より多くの消費者に届けたい

(恵庭市 ^{よご} 余湖 智 氏)

1 経営の概要

| 特別栽培経験年数 | 経営規模(うち特別栽培) | 労働力(人) | 備考 |
|----------|-----------------|--------|--------|
| 30年 | 55.28ha(33.3ha) | 5人 | パート58人 |

| 主な作物名 | 作付面積・(うち特別栽培) | | 生産量(10a当り)・(うち特別栽培) | |
|-------|---------------|----------|---------------------|------------|
| こまつな | 10.0 ha | (9.8 ha) | 3,830 kg | (3,830 kg) |
| だいこん | 9.7 | (9.7) | 3,557 | (3,557) |
| にんじん | 3.7 | (3.7) | 3,643 | (3,643) |
| 白かぶ | 4.7 | (4.7) | 2,857 | (2,857) |
| 大豆 | 5.2 | (5.2) | 155 | (155) |

2 特別栽培取組の経緯等

(1) 取り組みの動機・経過等

- ・約30年前から消費者と交流を行っており、当時、消費者から「安全・安心な農産物を食べたい」という声がかきかけで、昭和58年特別栽培(減化学農薬・減化学肥料)による野菜栽培を取り組み始めた。
- ・経営面積は年々増え続け、現在40種類を超える多品目の野菜を栽培している。
- ・消費者に安定供給を確保するため、特別栽培で生産している農業者と提携してグループを組み安定生産を行っている。



写真1 余湖 智さん(右端)



写真2 (有)余湖農園の看板

3 特別栽培管理技術等の特徴

[特別栽培管理の概要]

こまつな

| 作型 | 品種 | は種期 | 収穫期 | 保温条件 |
|-----------------|--------------------|-----------|------------|---------------|
| ハウス (4・5月どり) | 河北、わかみ、 W336 小松 | 2/上旬～3/上旬 | 4/上旬～5/上旬 | トンネル・マルチ |
| 露地 | 菜 | 4/8～9/15 | 5/20～11/20 | トンネル・マルチ・パオパオ |

だいこん

| 作 型 | 品 種 | は 種 期 | 収 穫 期 | 保 温 条 件 |
|--------|-------------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| トンネル | 涼太 | 4/10～5/4 | 6/15～8/10 | トンネル・マルチ・ハ°ハ°オ |
| 露地・春蒔き | 晩抽喜太一 美春 | 5/10～6/12 | 7/10～8/12 | 5/10～5/16 マルチ・ハ°ハ°オ 5/16～6/12 マルチ |
| 露地・夏蒔き | 夏つかさ 秋いち | 6/12～8/11 | 9/1～10/30 | |

にんじん

| 作 型 | 品 種 | は 種 期 | 収 穫 期 | 保 温 条 件 |
|-----|-----------------|----------------------|-----------|----------|
| 露 地 | ベーター312 向陽2号 | 4/23～6/3 4/23～7/5 | 8/1～10/30 | 4月中ハ°ハ°オ |

白かぶ

| 作 型 | 品 種 | は 種 期 | 収 穫 期 | 保 温 条 件 |
|------|---------|----------|------------|---|
| トンネル | C R鷹丸 | 4/18～9/5 | 6/8～10/30 | 4/18～4/25 トンネル・マルチ・ハ°ハ°オ 4/25～4/28 マルチ・ハ°ハ°オ |
| 露 地 | C Rもちばな | 6/5～9/1 | 7/20～10/30 | 9/3～9/5 マルチ |

大 豆

| 作 型 | 品 種 | は 種 期 | 収 穫 期 | 保 温 条 件 |
|-----|-------------|-------|-------|---------|
| 露 地 | ユキホマレ・ツルムスメ | 5/14 | 10月下旬 | |

[栽培管理技術等のポイント、工夫]

(1)土づくり

- ・連作障害を回避するため、業者と提携して年間600tの機能性堆肥（デナグロス堆肥、半熟堆肥）を自家製造し、10a当たり4t施用している。
- ・その他、野菜の栽培前後に緑肥（えん麦）を導入し、ミネラルや貝化石・菌体資材の投入、無材暗渠を実施している。



写真3 堆肥の切り返し

こまつな

| 主成分 | 資材名 | 施用量 (kg/10a) | 施用方法 | 施肥要素量(kg/10a) | | |
|-------|-----|-----------------|------|---------------|-----|-----|
| | | | | 窒素 | リン酸 | カリ |
| 有機質肥料 | 鶏糞 | 300 | 全面施用 | 2.3 | 5.0 | 3.0 |
| | 魚かす | 60 | | 5.1 | 4.5 | 1.5 |

追肥、健全育成としてオーガニック332、万田酵素31号を使用。

だいこん

ボロンアップハイグリーン(ホウ素1%・苦土13.5%)を45kg/10a散布している。

にんじん

| 主成分 | 資材名 | 施用量 (kg/10a) | 施用方法 | 施肥要素量(kg/10a) | | |
|-------|--------|-----------------|------|---------------|------|-----|
| | | | | 窒素 | リン酸 | カリ |
| 有機質肥料 | 魚かす | 60 | 全面施用 | 5.1 | 4.5 | 1.5 |
| | ベストグアノ | 40 | | 0.03 | 30.5 | 0.7 |

その他、ボロンアップハイグリーン(ホウ素1%・苦土13.5%)を45kg/10a散布している。

白かぶ

| 主成分 | 資材名 | 施用量 (kg/10a) | 施用方法 | 施肥要素量(kg/10a) | | |
|-------|--------|-----------------|------|---------------|-----|-----|
| | | | | 窒素 | リン酸 | カリ |
| 有機質肥料 | ヒトデパワー | 100 | 全面施用 | 1.5 | 1.4 | 0.7 |
| | 鶏糞 | 200 | | 2.3 | 5.0 | 3.0 |
| 化学肥料 | 旭レッド | 20 | | 15.0 | 6.0 | 9.0 |

大豆

| 主成分 | 資材名 | 施用量 (kg/10a) | 施用方法 | 施肥要素量(kg/10a) | | |
|-------|-----------|-----------------|------|---------------|------|------|
| | | | | 窒素 | リン酸 | カリ |
| 有機質肥料 | 鶏糞 | 100 | 全面施用 | 2.3 | 5.0 | 3.0 |
| 化学肥料 | S320(豆用) | 40 | | 3.0 | 20.0 | 10.0 |
| 有機質肥料 | MOOCAL700 | 500倍(3回) | 葉面散布 | 0.0 | 0.0 | 0.01 |

(2)病虫害防除

| 作物名 | 病虫害名 | 防除時期 | 防除対策 |
|------|----------------------|----------------|--|
| こまつな | コナガ、ヨトウムシ | 9/26 | 薬剤散布 1回:チュンアップ BT 2,000倍 |
| だいこん | タネバエ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ | 8/11 | 播溝施用 1回:フォース粒剤 9kg/10a |
| | | 9/1、9/11 | 薬剤散布 3回:カスケード乳剤、チュンアップ BT 2,000倍、DDVP50 1,000倍 |
| にんじん | ハリキリ、メイガ | 8/23、8/25 | 薬剤散布 2回: DDVP50 1,000倍 |
| 白かぶ | カブラチ、コナガ、ヨトウムシ | 8/24 | アグリワン 30kg/10a |
| | | 9/1 | 播溝施用 1回:フォース粒剤 4kg/10a |
| | | 9/15、9/22 | 薬剤散布 2回:マラソン乳剤 1,000倍 |
| 大豆 | アブラムシ、マメシロイガ | 6/25、7/14、7/26 | ゲットアウト: 3,000倍 |

展着剤にはオアシス21を使用。

緑肥作物(ヘイオーツ)を導入することで、だいこんやにんじんのセンチュウ対策につながっている。

(3)雑草対策

| |
|---|
| <p>【問題となる雑草】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネ科雑草(ヒエ等) ・広葉雑草(シロザ、ツユクサ等) |
| <p>【除草方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいこん(露地)~カルチ1回 ・コマツナ、白かぶ~手押し式除草機による畝間除草1回 ・大豆、にんじん~薬剤で処理しきれないシロザ、ツユクサは手で抜き取り |
| <p>【抑草対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチ栽培を取り入れ、雑草の生育を抑える。 |

4 生産物の出荷・販売

- ・販売先はコープさっぽろ(北広島店、エルフィン店、えべつ店、野幌店)、恵庭市道の駅直売所「かのな」、卸業者や卸売市場、スーパーマーケット、自然食品店等である。

5 消費者との交流の取組

- ・コープさっぽろと提携して、豆腐や味噌づくりの出前授業を開催している。また、直接農場に来てもらい、大豆の種まきや枝豆の収穫等の農作業体験を実施するなど、消費者と交流を図りながら、農業への理解を深めている。
- ・その他にも農園では、種まきや収穫等の体験ができるようになっている。



写真4 枝豆の収穫体験



写真5 味噌づくり体験

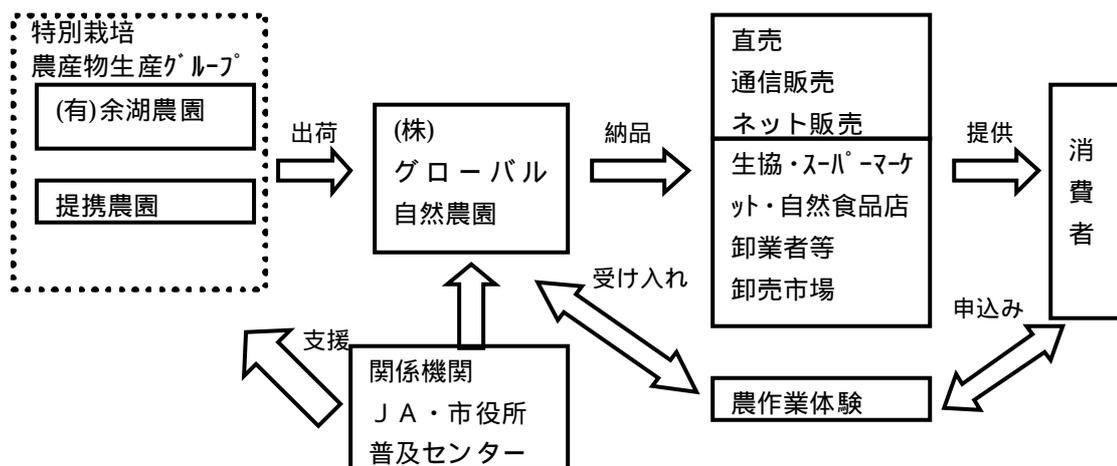


写真6 農産加工品

6 生産者のつながり、関係機関・団体等との関わり

- ・消費者に安定供給を図るため、平成3年に販売会社(株)グローバル自然農園を設立した。
- ・(株)グローバル自然農園は、『こだわり野菜』の流通と消費者との交流を担っている。

(株)グローバル自然農園を中心とした体制図



7 今後の課題と方向

- ・特別栽培にこだわった土づくりを重視した取り組みを継続し、品質の良い農産物の生産を目指す。
- ・規格外の農作物については、農産物を加工することで付加価値が高められるが、製品化するまでには時間がかかるとともに手間もないので、異業種と提携して規格外の野菜をフリーズドライ化させ、さらに粉末に加工し、販売するまでに至った。今後は粉末にした大豆を利用して麺に練り込み製品化を図る。
- ・現在、農作業体験のみ受け入れているが、将来は農作業体験の他に収穫した農産物を加工する施設を設置し、また直売所も備わった観光農園を開く等、農業者ならではの販売を展開する。

作成：石狩農業改良普及センター